

要請番号 (JL61822A08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マダガスカル	G182 小学校教育	20～45歳のみ	個別	交替3代目	2年	・ 2022/4 ・ 2023/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

国民教育省

2) 配属機関名 (日本語)

アンズブルベ郡学区事務所

3) 任地 (アナランガ県アンズブルベ郡アンズブルベ市) JICA事務所の所在地 (アンタナナリボ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、国民教育省の出先機関であり、アナランガ県教育事務所(DREN)の傘下のもと、郡内の教育行政を統括する学区事務所(CISCO)である。総務、プログラム担当、基礎教育、幼児教育、ノンフォーマル教育課等の部署があり、郡内20の地区に教育事務所(ZAP)を設置し、公立の小学校342校、中学校42校、高校及び私立校を管轄している。年間予算は約62万円。同県は、2016年に開始されたJICA技術協力プロジェクト「みんなの学校:住民参加による教育開発プロジェクト」の対象県となっており、学校給食等の支援が行われた。同配属先では本要請の前任のほか、住民参加型学校運営に関わる隊員も活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

教育省は教育分野の開発計画(PSE 2018-2022)において、アクセスの向上、教育の質の改善、ガバナンス強化を柱に政策を進めており、初等教育の純就学率は約9割あるが都市部と農村部の格差が大きく、修了率は約6割とまだ課題が多い。また、教育の質に関し、設備や教科書の不足も顕著であるが、コミュニティが雇用する、教員養成課程を経ていない無資格のコミュニティ教員(FRAM教員)が6割以上を占めており、教員の質も課題の一つである。これらの課題に対し、教育現場で現地の教員と協働しつつ、教員の質の向上に貢献できる小学校教育の要請に至った。初代の隊員は算数支援を中心に活動行い、前任である2代目の隊員も、算数や体育等の支援をはじめたところである。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

現地の小学校等を公共交通機関や自転車を使って巡回し、自身の得意なものを活かしながら、以下に挙げるような活動を行う。

1. 現地教員と協力して算数、図工、理科、体育等の教科の指導支援を実施する(配属先からは算数、理科、体育の要望有。算数は、小学校高学年でも指を使って計算するような状況)。
2. 児童の学習を効果的に進めるためのアイデアやアクティビティ、補助教材開発の支援を行う。
3. 衛生や栄養など、学校保健に関する活動も可能。
4. 上記活動を通じて事例を共有するための授業研究やワークショップの実施支援を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

配属先の空いている机・椅子。過去の隊員が作成した、算数・手洗い・栄養啓発等の教材も利用可。学校では、黒板とチョークは使用可能だが、その他の教材・教具は、任地にあるものを工夫して活用する。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:
学区事務所長:40代男性

指導主事、プログラム担当、各課の職員、秘書等の職員(40-50名程度)
活動対象者:対象となる各学校長、教員、児童(1クラス15～60人超)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
マダガスカル語	マダガスカル語	言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（小学校教諭）[学歴]：（ ）備考：
[性別]：（ ）備考：[経験]：（指導経験）2年以上備考：授業を実施するため

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候）気温：（8～30℃位）[電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可電話可）[水道]：（不安定）

【特記事項】

派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。